



## 2019年度 関西学生バスケットボール リーグ戦 リーグ戦の順位決定方法について

### I. 1部リーグ、2部リーグにおける順位決定方法

- 勝ち点制とする。1巡総当たりを行い、1巡目終了時点の成績に応じて2巡目の組合せを確定する。  
1巡目の成績によって決定された組み合わせで、2巡目を行い、順位を決定する。勝ち点の大なるチームを上位とする。

**勝=1点、負=0点、棄権・没収ゲーム=-1点 (計18試合/1チーム)**

- 上記1.において決定しない場合は、以下の(1)項→(4)項の方法で順位を決定する。なお、その各項において該当チームすべての順位が確定できなくとも、暫定順位が確定できるのであれば、該当チームを再編成し、もう一度(1)項→(4)項の方法を繰り返し、最終順位が決定するまで行う。

- (1) 2チーム以上が同勝ち点の場合、該当チーム間の勝者を上位とする。
- (2) 上記(1)においても決定しない場合は、該当チーム間の試合における得失点差の大なるチームを上位として決定する。
- (3) 上記(2)においても決定しない場合は、該当チーム間の試合におけるゴールアベレージの大なるチームを上位として決定する。
- (4) 上記(3)においても決定しない場合は、該当チームのリーグ戦全試合におけるゴールアベレージの大なるチームを上位として決定する。

- 上記すべての方法でも決定しない場合は、当連盟競技部が指定する方法により、該当チームの代表者(キャプテン)による抽選の上、その順位を決定する。

[想定例] 3チームで勝ち点が並び、該当チーム間で以下の内訳となった場合。

■チームA=1勝1敗、チームB=1勝1敗、チームC=1勝1敗

- (1) 2チーム以上が同勝ち点の場合、該当チーム間の勝者を上位とする。

**暫定順位を出せないため次項へ移行する。**

- (2) 上記(1)においても決定しない場合は、該当チーム間の試合における得失点差の大なるチームを上位として決定する。

**(1)と変わらず。次項の決定方法へ移行する。**

- (3) 上記(2)においても決定しない場合は、該当チーム間の試合におけるゴールアベレージの大なるチームを上位として決定する。

**得失点差によりチームA、Bが同順位、チームCは他2チームより得失点差が低かった。**

**よって、チームCの暫定順位を確定する。**

**※チームCの暫定順位はチームA、Bの1つ下の順位になる。**

**結果：チームAとチームB間で(1)より再度順位を決定していく。**



## Ⅱ. 3部リーグ～5部リーグにおける順位決定方法

1. 各リーグとも勝ち点制とする。総当たりを一回行い、勝ち点の大なるチームを上位とする。

**勝=1点、負=0点、棄権・没収ゲーム=-1点 (11試合/1チーム)**

2. 上記1. において決定しない場合は、以下の(1)項→(3)項の方法で順位を決定する。なお、その各項において該当チームすべての順位が確定できなくとも、暫定順位が確定できるのであれば、該当チームを再度編成し、もう一度(1)項→(3)項の方法を繰り返し、最終順位が決定するまで行う。

(1) 2チーム以上が同勝ち点の場合、該当チーム間の勝者を上位とする。

(2) 上記(1)においても決定しない場合は、該当チーム間の試合における得失点差の大なるチームを上位として決定する。

(3) 上記(2)においても決定しない場合は、該当チーム間の試合における総得点の大なるチームを上位として決定する。

3. 上記すべての方法でも決定しない場合は、当連盟競技部が指定する方法により、該当チームの代表者(キャプテン)による抽選の上、その順位を決定する。



### Ⅲ. 6部リーグにおける順位決定方法

1. 勝ち点制とする。6部リーグの所属チームを並列にて2ブロック（Aブロック・Bブロック）に分ける（表1）。各ブロックで総当たりを行う。勝ち点の大なるチームを上位とし、2次リーグに向けた順位を決定する。

**勝=1点、負=0点、棄権・没収ゲーム=-1点（6試合/1チーム）**

2次リーグは1次リーグの結果をもとに、Iブロック（A・Bブロック1位・2位）、IIブロック（A・Bブロック3位・4位）、IIIブロック（A・Bブロック5位・6位・7位）に分かれる。2次リーグには、1次リーグの勝ち点は持ち越す。

I・IIブロックは各ブロックで総当たりを行う（表2）。

IIIブロックは1次リーグで対戦したチーム以外のチームと総当たりを行う（表2）。

2. 上記1.において決定しない場合は、以下の（1）項→（3）項の方法で順位を決める。なお、その各項において該当チームすべての順位が確定できなくとも、暫定順位が確定できるのであれば、該当チームを再度編成し、もう一度（1）項→（3）項の方法を繰り返し、最終順位が決定するまで行う。

（1）2チーム以上が同勝ち点の場合、該当チーム間の勝者を上位とする。ただし、該当チーム間の試合が行われていない場合、2次リーグの勝ち点の大なるチームを上位とする。

（2）上記（1）においても決定しない場合は、該当チーム間の試合における得失点差の大なるチームを上位として決定する。

（3）上記（2）においても決定しない場合は、該当チーム間の試合における総得点の大なるチームを上位として決定する

3. 上記すべての方法でも決定しない場合は、当連盟競技部が指定する方法により、該当チームの代表者（キャプテン）による抽選の上、その順位を決定する。



## 6部リーグ戦試合方式

表1 1次リーグのブロック分け

2ブロックで総当たり戦を実施する。

Aブロック	Bブロック
1位	2位
4位	3位
5位	6位
8位	7位
9位	10位
12位	11位
13位	14位

表2 2次リーグのブロック分け

I・IIブロックはそれぞれ総当たり戦を実施する。

	A・1位	B・1位	A・2位	B・2位
A・1位				
B・1位				
A・2位				
B・2位				

	A・3位	B・3位	A・4位	B・4位
A・3位				
B・3位				
A・4位				
B・4位				

IIIブロックは1次リーグでの同ブロック以外のチームと総当たり戦を実施する。

	A・5位	B・5位	A・6位	B・6位	A・7位	B・7位
A・5位			※		※	
B・5位				※		※
A・6位	※				※	
B・6位		※				※
A・7位	※		※			
B・7位		※		※		